

京都市立病院 健診センター

『肺がんドック』はじめました



27年度の日本人の死亡原因の第1位はがんで、年間死亡者の129万人のうち38万人が何らかのがんで亡くなっています。このうち、最も多いのが、「肺がん」で、年に7万4千人の方が亡くなっています。「肺がん」は、ある程度進行してからでないと症状が出ないため、気づいてからでは手遅れとなることも少なくありません。がんは、早期発見、早期治療により死亡率を下げることができます。

京都市立病院では、平成28年11月1日から、新たに『肺がんドック』を始めましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1 検査内容

① 低線量胸部単純CT

一般的な検診で撮影される胸部X線画像では、臓器に隠れた病変部を見逃す場合があります。CT検査では体の輪切り(断面)の画像を撮ることにより、周りの臓器に影響されず、詳細に肺の状態を知ることができます。当院では64列CTを使用することで、数秒程度の息止めで高精細な画像が得られ、さらに被ばく量を通常の胸部CTの6分の1程度まで抑えた検査を行うことができます。

② 喀痰細胞診検査

痰に混じった細胞を顕微鏡で調べ、がん細胞の有無を調べます。

③ 腫瘍マーカー (CEA, CYFRA, ProGRP)

がんの存在によって血液中に増加する物質 (マーカー) を測ります。肺がんを組織型で分類すると、腺がん・扁平上皮がん・大細胞がん・小細胞がん大きく4つに分類されます。3種類の腫瘍マーカーで、肺で起こる異常を広く分析し、精度を高めています。

CEA : 特に腺がんを調べるマーカー。

CYFRA : 特に扁平上皮がんを調べるマーカー。腺がん、大細胞がんなどの非小細胞がんでも高い値となります。

ProGRP : 小細胞がんを調べるマーカーです。

2 料 金

23,690円 (税込)

3 予約方法

京都市立病院健診センター（本館4階）受付又は電話で予約。

TEL: 075-311-5311 (直通) (午前8時30分～午後5時)

※ 事前予約が必要です

肺がんドックはこんな方にお勧め

- ・ たばこを20年以上喫煙している
- ・ 男性40歳以上、女性45歳以上の方
- ・ 家系にがん歴のある方
- ・ 呼吸器等に自覚症状をお持ちの方（せき・たん・胸痛など）
- ・ 同居者にスモーカー（同じ空間でタバコを吸っている）がいる
- ・ 結核と言われたことがある
- ・ 粉塵曝露歴がある（石綿（アスベスト）など）

京都市立病院キャラクター

